

市長記者会見報告事項概要

令和7年10月24日(金) 午前10時15分～

1. 春川市への訪問について

- 本年4月、姉妹都市、大韓民国春川市から陸東翰(ユク ドンハン)市長をはじめとする11名の訪問団にお越しいただき、「友好交流に関する合意書」に署名した。
- また、8月に開催した「こども文化祭」では、春川市のこどもたちをゲストに招き、韓国の伝統芸能を披露していただき、盛り上がった。
- このたび、毎年相互に開催している、第33回韓日親善文化交流芸術展の開幕式典に参加するため、春川市を訪問する。
- 防府市長が春川市を訪問するのは、平成19年以来18年ぶりとなる。また、市議会から安村議長が訪問される。
- 春川市の歴史や文化を伝える施設を見学する等、春川市の魅力をしっかりと学び、陸(ユク)市長をはじめとする春川市の皆様との友好関係をしっかりと築いてまいりたいと考えている。

2. 「特別展 上山満之進と東台湾臨海道路」の開催について

- 上山満之進は、国の要職を歴任し、台湾総督に着任するなど、明治維新後の国の発展に大きく寄与された。また、後の防府図書館となる三哲文庫設立に寄附を申し出るなど、本市文化の発展に欠かせない存在である。
- その生涯を通じて成し遂げた偉業を称える「特別展 上山満之進と東台湾臨海道路」を防府市文化センターで、来月8日(土)

から16日（日）まで開催する。

- 特別展の目玉として、上山満之進が陳澄波(ちんとうは)に描かせた「東台湾臨海道路」の本物の絵画を特別公開する。
- 11月7日(金)には、陳澄波のお孫さんである陳立栢(ちんりっぱく)さんをお招きし、開幕式典と内覧会を予定している。
- 台湾の国立博物館で開催された展示会に出展された、「東台湾臨海道路」以外の7点の陳澄波の絵画のレプリカも飾ることとしている。

3. 学校給食「デザートの日」について

- 防府市では、今年度から、農業公社において収穫した防府市産米を、市内小・中学校の学校給食に無償提供することで、物価高騰のなかでも、保護者へ新たな負担をかけることなく、給食の充実を図っているところである。
- このたび、学校給食に、「デザートの日」を設け、こどもたちの意見を聞いて、人気のデザートを提供する。
- 第1回目は、11月5日（水）に、全ての小・中学校において一斉に実施する。この日は、人気ナンバーワンの「はちみつレモンゼリー」を提供することとしている。
- その後、毎週、こどもたちが喜ぶデザートを提供していく。
- こどもたちが楽しみとなる給食を提供することで、行きたくなる学校づくりを進めていきたい。

4. メバル公園のリニューアルオープンについて

- メバル公園は、11月3日（祝）に5歳の誕生日を迎える。

- こどもたちに大人気のメバル型複合遊具「がんばるメバル号」は、5歳の誕生日に向け、きれいに塗装をするため、8月から休んでいたが、誕生日に、きれいになった姿をお披露目することとしている。
- メバル公園にとって節目となることから、この日を「ほうふっ子の日」とし、多くの方と一緒に祝いするため、「ほうふっ子わくわくフェスタ」を開催する。
- 「ほうふっ子の日宣言」や、バルーンリリース、餅まきのほか、イベント会場では、防府市高校生職員が企画した体験イベントなど、家族そろって楽しめる催しを用意している。
- 同日、潮彩市場防府では、「潮彩フェア」も開催される。
- また、県の「農林業の知と技の拠点」では、拠点祭が開催される。潮彩市場から無料シャトルバスが運行されるので、両会場を行き来していただければと思う。
- イベント満載のメバル公園周辺に多くの方にご来場いただきたいと思う。

5. 本市公園整備の「日本公園緑地協会会長賞」受賞について

- 昨年、木をふんだんに使用したインクルーシブ遊具を市内全小学校区に設置した本市の取組が評価され、木を使う優れた活動を表彰する、日本ウッドデザイン協会主催のウッドデザイン賞・優秀賞を受賞した。
- その後、大平山山頂にも、大平山の間伐材を使った新たな遊具を設置するなど、この取組をさらに進めてきた。
- このことが評価され、このたび、一般社団法人日本公園緑地協

会主催の第41回都市公園等コンクールにおいて、日本公園緑地協会会長賞を受賞した。

- 現在、大平山で展開している「2050年の森づくりプロジェクト」に弾みがつくものと嬉しく思っている。

6. 防府市公会堂の「公共建築賞・特別賞」受賞について

- 防府市公会堂 三友サルビアホールは、令和元年から2年にかけて大規模改修が行われた。このことが評価され、本年2月に公益社団法人ロングライフ推進協会主催のBELCA賞を、そして、本年6月には一般社団法人公共建築協会主催の公共建築賞・優秀賞を受賞した。8月のこども文化祭の際には、その賞牌をご披露させていただいた。
- このたび、公共建築賞において、全国の受賞建築物を対象としたさらなる審査が行われ、このたび公共建築賞・特別賞を受賞した。

7. 生涯学習都市宣言25周年記念大会について

- 11月16日（日）、創業・交流センターにおいて、生涯学習都市宣言25周年記念大会を開催する。
- 記念式典では、長年に渡り、市の生涯学習施策への功労が顕著であった方の表彰を行うとともに、あらためて生涯学習都市宣言を行う。
- なお、特別講演会では、「現代によみがえる山頭火」というテーマで、山頭火ふるさと館学芸員の高張優子さんが講演を行う。

8. 秋本番のイベントについて

- 25日（土）のふるさと思い出花火をはじめ、秋本番の観光イベントが目白押しである。
- 毛利博物館では、今年も、「四季山水図」をはじめとする4件の国宝が一堂に展示される特別展「国宝」が、11月1日（土）から12月9日（火）まで開催される。雪舟筆「四季山水図」は、大阪・関西万博の際に大阪市立美術館で開催された「日本国宝展」では長蛇の列ができていたが、防府ではゆっくりご覧いただけるので、ぜひ多くの方にお越しいただきたい。
- 英雲荘では、11月1日（土）から3日（月・祝）まで、生誕300年を迎えた毛利重就公を偲ぶ観月会の十三夜を開催する。夜間公開と併せて、市内の公立高校3校による音楽演奏なども行われる。

9. レノファ山口FC防府市ホームタウンデーについて

- 来月9日（日）のレノファ山口のホームゲームは、「防府市ホームタウンデー」として開催される。
- 当日は、レノファ山口の勝利と幸福を願掛けし、“3, 129（サチフク）個のもちまき”を行う。「29」は、防府市シャレン選手の背番号「14」と「15」を足した数でもある。また、フェイス&ボディペインティングブースを設けるなど、応援を盛り上げるイベントを多数用意している。
- また、市民1,000名様をご招待・ご優待する。
- 今シーズンのホーム戦は、残り3試合になる。多くの方に「維新みらいふスタジアム」に足を運んでいただき、一緒にレノファ

山口を応援したいと思う。

- 昨年の防府市ホームタウンデーでは、来場者が1万人を超え、市町ホームタウンデーの中で一番の来場者数だった。今年も一番になればと願っている。

10. 令和8年度予算編成方針について

- 本日、職員に対し、令和8年度予算編成方針について訓示を行ったところである。
- 令和8年度予算は第6次総合計画の初年度にあたる予算となる。
- これまでと同様、職員と一緒に力を合わせて、第6次総合計画の初年度にふさわしい予算となるようにしていきたいと考えている。
- 来年度は市制90周年を迎えるため、100周年に向けてのスタートになると思っている。
- 現在、第6次総合計画を策定中で、この12月議会で議決をいただくことになっている。
- 議決をいただければ、国の補正予算や県の予算編成等を踏まえながら、令和7年度補正予算と一体的に捉えた年間総合計画として進めていきたい。
- 財源不足については、令和7年度の当初予算編成時に見込んでいた16億円が、23億円に拡大すると見込んでいる。
- 加えて、本市においては、自動車関連企業が集積しており、米国の関税措置による影響も大変危惧しているところである。
- こうした厳しい財政状況の中にあっても、新たな総合計画の初年度予算として、重点プロジェクトは確実に進めていきたいと

思っている。一方で、既存事業については、時代の流れに沿った形での見直しを図り、市民サービスの向上に努めていきたいと思っている。

- そのためにも、歳入確保が大変重要になる。昨日も、国の関係団体をまわってきた。国や県の補助事業を積極的に導入し、起債の発行にあたっては、より交付税措置率の高い地方債を活用していきたい。
- その他、ふるさと納税制度の活用や、ネーミングライツや市有施設の有効活用など、あらゆる知恵を働かせながら財源不足の圧縮に努めてまいりたい。
- しかしながら、国の税制等が不透明な状況であるため、今後の地方財政対策等によっては、新たな見積もりの指示や、見積もりのやり直し等も想定されるのではと思っている。
- また、そうしたことがないように、これからも国等に対し、様々な場面を使って要望をしていきたいと思っている。先般、エアコンの設置を来年度、再来年度に実施したいと申し上げたが、これについても、これからも国へ要望をしていきたいと思っている。